



長崎被災協・被爆二世の会・長崎

二世の会ニュース NO.27

一発行日一
2024年
12月25日

〒852-8115 長崎市岡町 8-20 被災協気付
☎ 090-7581-9794 会長：山崎和幸
被爆二世の会・長崎 公式LINE・FB

日本被団協、ノーベル平和賞受賞

2024年10月11日（金）日本原水爆被害者団体協議会にノーベル平和賞受賞が発表されました。

ただちに夜8時から長崎原爆被災者協議会2階会議室で記者会見が行われました。

田中重光会長らとともに日本被団協全国代表者会議に出かけ、長崎に到着したばかりの佐藤澄人さん（二世の会・長崎事務局長）たちが駆けつけ、柿田富美枝さん（二世の会・理事、被災協事務局長）も参加しました。



長崎県庁、長崎市、原爆資料館、国立追悼祈念館などにも「ノーベル平和賞受賞」祝賀のスクリーンなどが飾られました。

12月10日（火）オスロで行われた授賞式には長崎から田中重光・被災協会長、横山照子・同副会長が参列しました。また日本原水協、ICANの呼びかけのツアーに、尾崎庸美さん（二世）も参加しました。



ノーベル平和賞受賞理由は「核兵器のない世界を実現するための努力」と「核兵器が二度と使われてはならないことを証言によって示してきたこと」が評価されたことによるものです。涙を流して喜ぶ被爆者の人たちもいました。

また40年も前からノミネートされながら受賞が遅れたことに、もう少し早く受賞していれば、もっと多くの先達に喜んでもらえたのにという声も聞かれました。このノーベル委員会のアナウンスメントは「いつの日か、歴史の証人としての被爆者は私たちの前からいなくなる。

しかし、きちんと記録する文化とこれまでの熱心な活動によって、日本の新しい世代は証言者の経験とメッセージを受け継いでいる。彼らは世界の人々を刺激し、教育している。こうして彼らは、『核のタブー』人類の平和な未来の前提条件を維持することに貢献しているのだ」としています。



(ノーベル平和賞受賞式・ノーベル委員会提供)

私たち被爆二世、三世や、平和を求める市民たちは、被爆者の証言を受け継いでいく大きな責務があります。

長崎市、長崎県の主催で 20 時半~22 時まで長崎市役所 2 階多目的ホールで開催されたパブリックビューイングには 160 名が参加し、被災協、二世の会・長崎、諫早から合わせて 40 名あまりが授賞式の感動をともにしました。

今、世界各地で戦争が起こり、核兵器の使用が心配されるような厳しい情勢の中、日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことで、今こそ世界各国は力を合わせ、戦争をやめさせ、核兵器廃絶実現のために奮闘するときです。

私たちも被爆地長崎の被災協・二世の会として、核兵器のない世界をこれからの子どもたちに残すため、活動していきましょう。

ノーベル平和賞受賞記念企画・写真パネル展

1月22日（金）午前9時 オープンセレモニー

長崎原爆資料館 地下2階 円形パピリオン

1月22日午前9時~9時15分、オープンセレモニーが長崎市の主催で行われます。鈴木市長の挨拶、横山照子副会長の挨拶などのあと、パネル展を参加者たちで見学します。

パネルはノーベル平和賞授賞式の写真などのほか、長崎被災協の長年の歴史や活動が紹介されます。

ノーベル賞のメダルのレプリカや、オスロに持って行って配布した英語パンフレットも展示されます。



二世の会・長崎、二世の会・諫早の活動の写真も展示されますので、ご都合のつく方はご参加ください。

3月28日（金）まで開催されます。1月22日のオープンセレモニーに参加できない方も、この期間中にぜひご覧ください。

二世の会・長崎&諫早交流会

11月3日(日)午前10時より被災協2階会議室で、二世の会・長崎と諫早の役員などが集まり、交流会を開催しました。それぞれの活動を紹介し、会員を増やしたいなどの悩みも出しました。また日本被団協の歴史を学びたいという意見が出され、「原爆被害者の基本要件」のパンフレットの学習会をしようと話し合われました。



被災協の田中会長に、急きょノーベル賞を受賞してのご挨拶をお願いしました。田中会長は受賞の喜びとともに「これからの私たちの活動が問われる」と話しました。

また「二世へのアドバイスは」と問われ、「これからの被災協をあなた方

が引き継いでいく。しっかり会員を増やすこと、目に見える活動をする。今、活動に参加できていない人の自宅を訪問すること」など、具体的に話されました。

田中会長はご自分の地域の会員に毎月、被団協新聞を届け、会員と顔を合わせる活動を続けておられるので、その言葉は重いです。二世の会も地道に活動しなければと思いました。

インカニヤン・コンサート

11月30日(土)13時半より被災協地下講堂で、5年ぶりとなるインカニヤン・コンサートを開催しました。

ペルーのフォルクローレはどこか懐かしい民族楽器の音色で美しい歌声を約100人の参加者たちは大いに楽しみました。

また平和を願う楽曲には、戦争のない世界の平和を考えるコンサートとなりました。

コンサートには11の協賛団体の支援がありました。MCは二世の会・長崎の会長、山崎和幸さんが担当しました。



長崎市役所 19 階で原爆パネル展

9月13日（金）から24日（火）まで、長崎市役所19階ギャラリーで「被災協・二世の会・長崎」の原爆写真パネル展を開催しました。

私たちがいて説明するという会場ではなく、並べたものを見てもらう、細長いギャラリーです。いつも使っているパネルではなく、その前のバージョンで写真に説明がついているものを選び、読んで理解してもらうパネルにしました。また俳句の会の反原爆、平和の句も展示しました。

参加者からは「たまたま市役所に来て見ることができて良かった」という意見が聞かれました。またこれから新たな会場で行なっていきます。

なお、毎年、定例の原爆写真パネル展は7月に被災協2階会議室で開催し、多くの観光客、外国人、市民、子どもたちと二世たちが交流しています。



被爆二世、三世全国連絡会 交流会

10月14日（月）、15日（火）の2日間、京都市左京区の京都教育センターで会の発足にいたる経過やこれからの運動について、グループ討議を行い、「京都被爆二世、三世の会」のアンケートから被爆二世、三世の健康実態についての報告や、放射線の遺伝的影響についての学習会が行われました。



長崎から3名、全国から36名が参加しました。誰もが核兵器廃絶のため平和行進や9条の会、広島の伝承者、被爆地の案内ガイド、長崎の家族証言者などの活動を行っていました。それぞれの活動も交流し、楽しいひとときでした。

今年2月7日に厚労省交渉を行いました。署名の目標を2万筆とし、来年2月に署名を持って厚労省交渉を行います。京都の会では毎月、街頭宣伝を始めました。福島原発被害者の団体からも署名が送られてきています。

私たち被爆二世、三世の医療保障を求める署名にご協力ください。署名用紙はニュースに同封していますので、1月25日までに郵送でお送りください。

よろしくお願いします。

浦上川緑地帯で慰霊の花植え

11月16日(土)午前9時より浦上川緑地帯で、長崎被災協と二世の会・長崎で花植えを行いました。これは浦上川河川敷で亡くなられた多くの原爆犠牲者の慰霊のため、毎年、行っているものです。

今年は来年の春に咲くチューリップの球根400個を植えました。お天気を心配していましたが、小雨が少し降ったくらいで予定通り終わることができました。

南山高校生17名が参加してくれたので、作業もはかどり、交流の場もでき、良い雰囲気で行うことができました。36名の方々に手伝っていただき、感謝しています。

今は球根が土の中に眠っていますが、来春、色とりどりのチューリップが咲いてくれると期待しています。

皆さん、近くを通られたら、ぜひご覧ください。場所は野球場・ビッグNの正面玄関、大きいな帽子のモニュメントから徒歩で1, 2分、右側の川を見ていただくと、緑地帯が見えてきます。



ノーベル平和賞受賞式から帰国の会見



12月13日(金)オスロでの授賞式から被災協の田中重光会長、横山照子副会長が帰国し、17時から被災協地下講堂で記者会見が行われました。

田中会長らの後ろに理事や監事や語り部、二世が並びました。被爆者5名と「二世の会・長崎」から山崎会長、佐藤事務局長、柿田理事、「二世の会・諫早」から

の高屋会長、大宮事務局長、石場さんの6名が参加しました。横山さんに付き添った三世の姪御さんたちもいて、これからの被災協を引き継いでいく二世、三世たちの決意の場ともなりました。最後にオスロの会場で寄せ書きの横断幕を前に参加者たちで写真を撮りました。

核兵器禁止条約発効 4 周年のつどい

と き 1月19日(日) 午前10時半~11時半

ところ 被災協地下講堂

「核兵器禁止条約発効 4 周年のつどい」が開催され、ノーベル平和賞受賞式に参加した人たちの報告があります。核兵器を世界から廃絶するため、日本政府にも禁止条約の批准を求めるものです。ぜひ参加ください!!

●2024 年度の会費納入をお願いします

正会員は年間 3,000 円 (半年分ずつ納入可)、賛助会員 1,000 円です。

正会員には毎月、日本被団協新聞と長崎被災協のニュースが届きます。

振込口座 ゆうちょ銀行 店番 768 口座番号 168007

加入者名「長崎被災協・被爆二世の会・長崎」会長 山崎和幸

●二世の会ニュースは年に3回(9月、12月、3月頃)発行します。



日本被団協ノーベル平和賞受賞記念

長崎平和フォーラム

と き 3月8日(土) 14時~16時30分

ところ ベネックス長崎ブリックホール国際会議場

内容 基調講演 田中重光会長 (茂里町)

パネルディスカッション 鈴木市長、林田光弘氏、
横山照子副会長、二世の会・長崎、諫早など



長崎被災協「被爆 80 年記念誌」原稿募集

長崎被災協では被爆 80 年に向けて 3 つのプロジェクト (これからの被災協、記念事業、世界に向けた広報活動) を立ち上げ、それぞれ二世の会・長崎や諫早の会員や市民が参加して進めています。記念誌では、親や祖父母の被爆体験、その後の暮らしなど、これまで話を聞いてきたことや、自分が原爆、戦争、平和などについて考えていること、感じていることを原稿で募集しています。

原稿は 8,000 字以内で、絵や短歌、俳句、写真なども受け付けています。年末年始のお休みに原稿を書いてお送りください。 **1月31日〆切**

発行は 2025 年 8 月 9 日です。

被爆体験の聞き取りやビデオの撮影などの協力も募集中です。

